

大石地区
復興まちづくり協議会・地権者連絡会

平成29年04月22日(土)
15:00～

開催場所：大石地域交流センター

次 第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
3. 土地利用計画について
4. 今後の工事スケジュールについて
5. 屋形遺跡について
6. 大石地域交流センターの増築について
7. 意見交換

1. 市長からの挨拶

2. 本日の主旨とこれまでの経緯

本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございました。

今回のまちづくり協議会・地権者連絡会は

- ①土地利用計画
- ②今後の工事スケジュール
- ③屋形遺跡
- ④大石地域交流センターの増築

について次第に沿って説明させていただきます。

平成25年8月3日 大石地区まちづくり協議会・地権者連絡会

- 土地利用検討状況の提示
- 今後のスケジュール
- 災害危険区域の指定について

復興まちづくり協議会・地権者連絡会での意見をふまえた計画の見直し

- 平成25年10月 9日～平成26年 2月21日 計4回
まちづくりについて地元と話し合いを重ねてきました
- 平成25年12月 復興公営住宅（3戸）完成

平成26年7月6日 大石地区まちづくり協議会・地権者連絡会

●東側道路の整備

道路施設 緊急車両が通行できる幅員5.0mで計画

避難路施設 緊急一時避難路として幅員2.5mで計画

●西側土砂崩壊防止施設の整備

浸水域を広げないため唐丹湾と同じ TP=14.5mで計画

●今後のスケジュール

復興まちづくり協議会・地権者連絡会後の状況

- 計画が各地権者の所有地にどのような影響を与えるのかを説明
- 各施設を建設した時、現在の生活環境にどのような影響を与えるかを説明
- 個々の要望の聞き取り

復興まちづくり協議会・地権者連絡会での意見や
聞き取り調査の結果をふまえた計画の見直し



平成26年11月30日 大石地区まちづくり協議会・地権者連絡会

- 聞き取り調査後の意見集約結果
- 意見集約結果を見ての今後の方針
- 前回提示した道路整備案の詳細図について
- 事業実施スケジュール

復興まちづくり協議会・地権者連絡会での合意を受け計画を進行

- 平成27年 4月17日 埋蔵文化財調査に伴う工事説明会
- 平成27年 5月 屋形遺跡埋蔵文化財発掘調査開始
縄文貝塚の発見
- 平成27年10月 屋形遺跡発掘調査説明会

埋蔵文化財の影響により設計の見直しが発生

- 平成28年 4月～平成28年10月 避難路の見直し
- 平成28年 4月～ 用地交渉

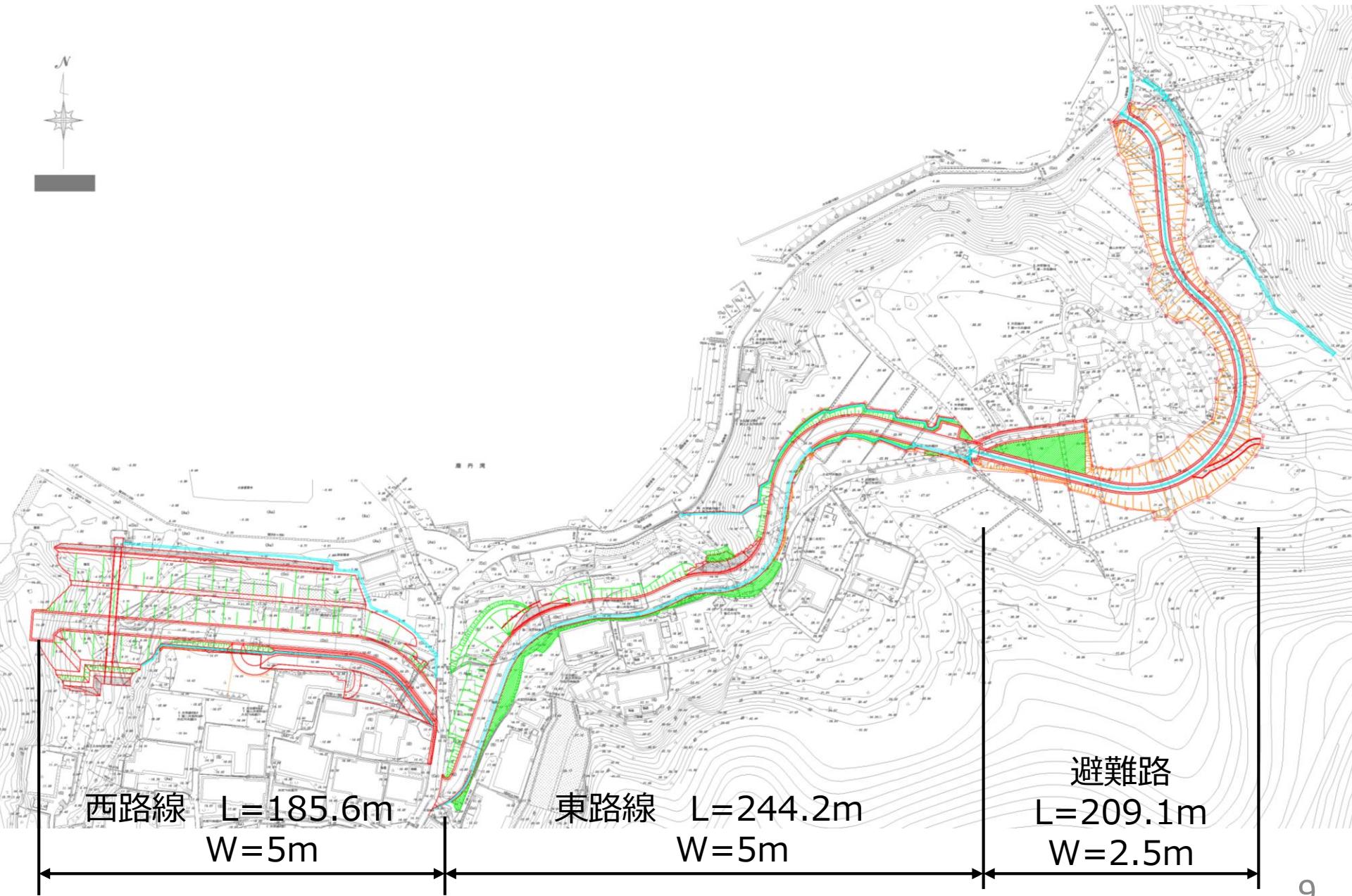
今回

3. 土地利用計画について

大石地区の土地利用計画について説明いたします。

埋蔵文化財の影響が出ないように計画の見直しを行い、
埋蔵文化財包括蔵地を多数占める東路線の避難路について
設計を変更し、土地利用計画（案）を作成いたしました。

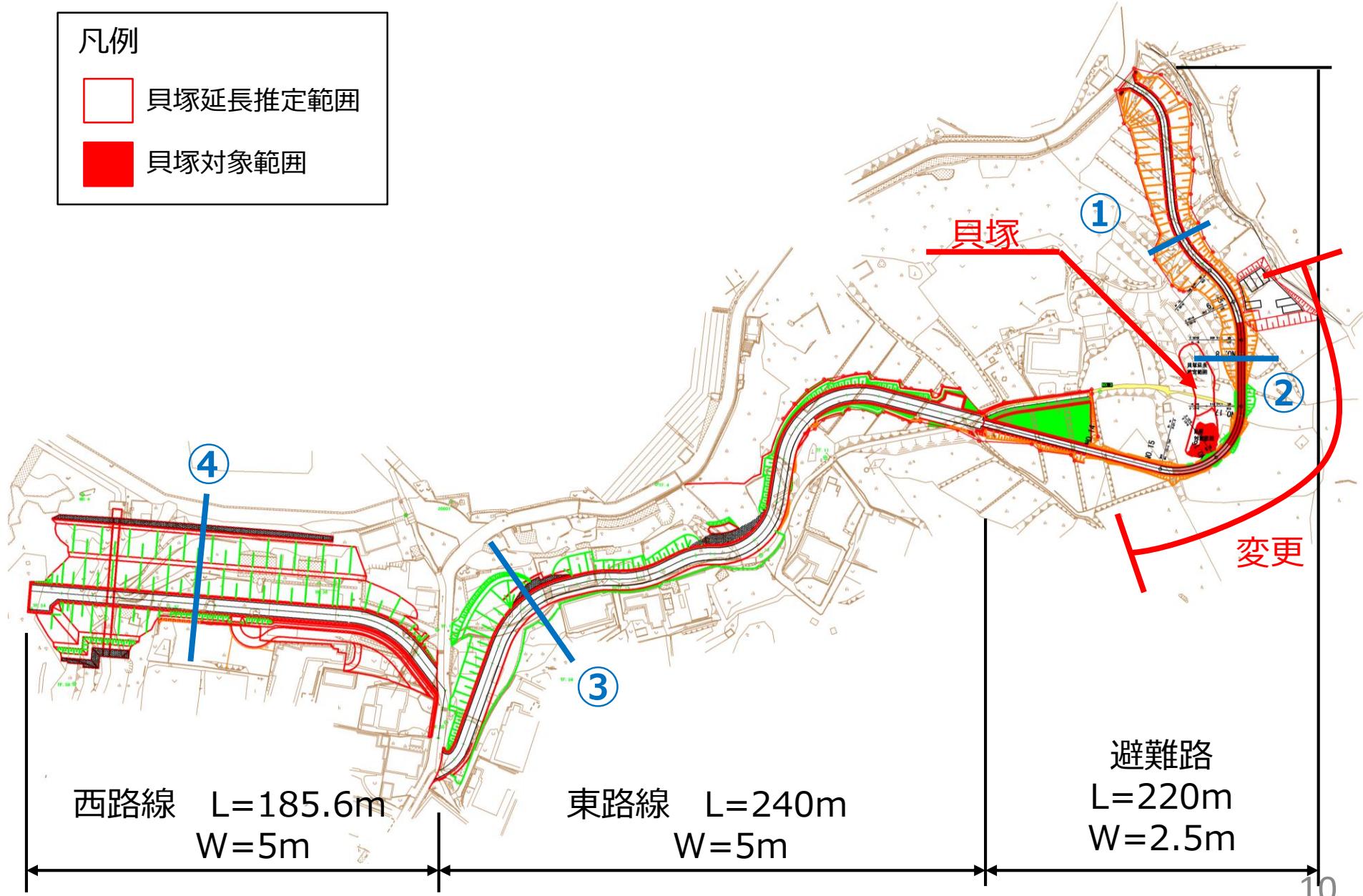
前回のまちづくり協議会・地権者連絡会の内容を反映した土地利用計画



土地利用計画図（案）

凡例

- 貝塚延長推定範囲
- 貝塚対象範囲



変更箇所



避難路について

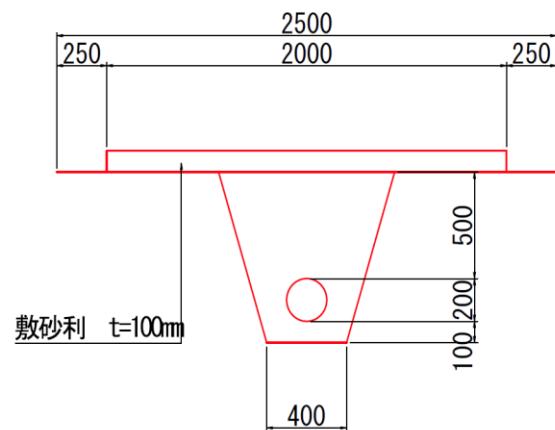
埋蔵文化財に影響が出ないよう
に道路を現況の高さに合わせて
設計を変更しています。

遊歩道として、下記の写真のよ
うな階段を設置を検討していま
す。

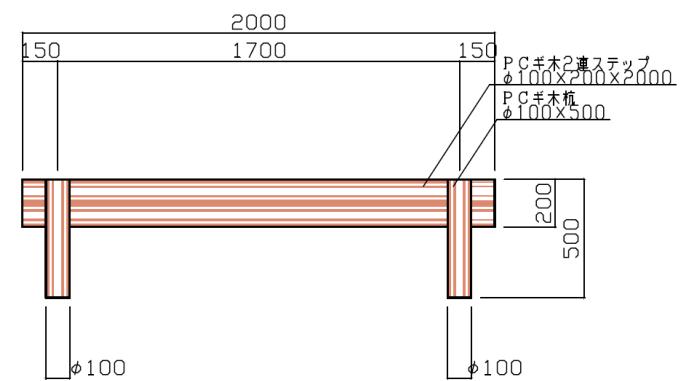
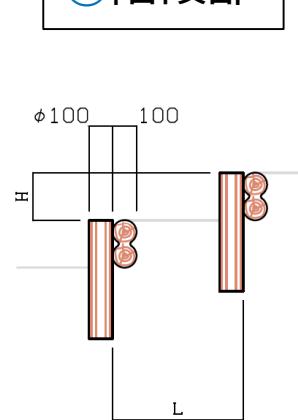


避難路断面図

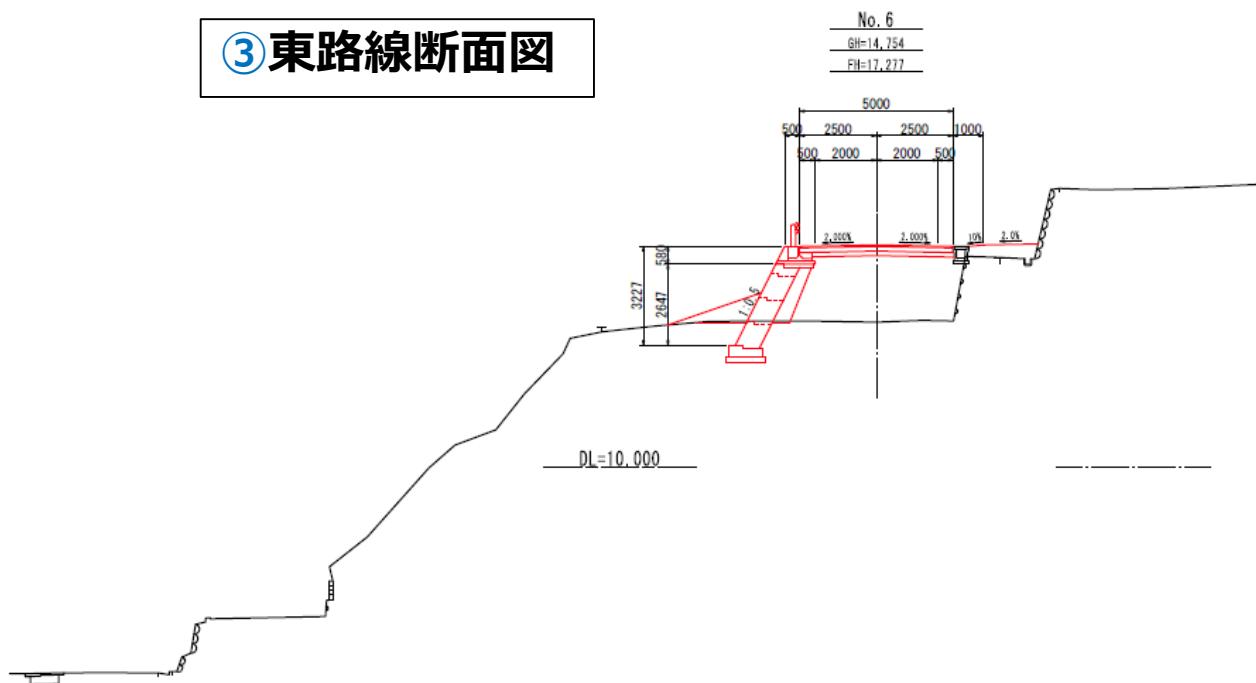
①スロープ部



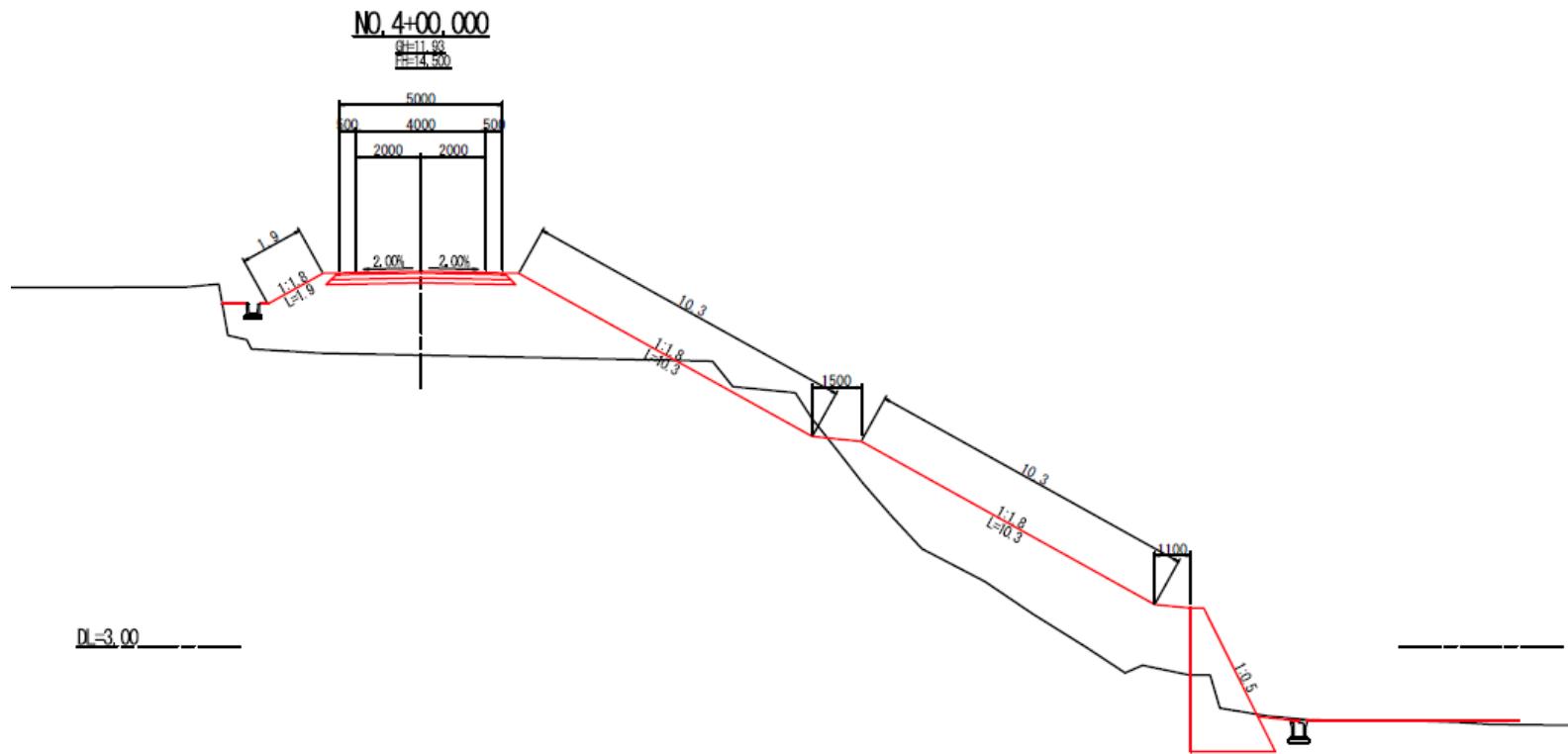
②階段部



③東路線断面図



④西路線断面図



4. 今後の工事スケジュールについて

地区	項目	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度					
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
大石	復興まちづくり協議会・地権者連絡会	●	●											●	現時点								
	設計・協議(ボーリング調査含む)														H29.4								
	用地交渉															詳細設計							
	埋蔵文化財調査																						
	道路工事(東・西路線)																						
	地域交流センターの増築工事																						
	復興住宅建設																						

H25.12建設完了

5. 屋形遺跡について

屋形遺跡について

屋形遺跡は釜石で最も良好に残る遺跡の一つです。土器が拾える場所として親しまれ、旧大石小学校には子供たちの拾った良好な資料が所蔵されていました。

唐丹湾を臨む高台に所在し、日当たり、水源、森林、砂浜を有する海岸部、何れも先史時代以降、人間が住むのに適した場所であったと言えます。

調査の結果、縄文時代(約5500～4000年前)、弥生時代(約2300年前)、平安時代(約1000年前)が良好に残る遺跡であると判明しました。

また、調査の最大の発見は縄文時代の貝塚です。今回 $140m^2$ 発見されていますが、 $200m^2$ までは広がると推定されます。積み重なった貝は最大厚1.4mにもなります。出土する土器から判断すると約4000年前に作られたと考えられます。海の資源を最大に利用しており、現代の「海のまち」としての原点が大石にあったと言えるでしょう。



屋形遺跡の調査

貝塚は貝殻の成分により、通常残らない資料が発見されます。

今回も釣針をはじめ、本来残らない貴重な遺物が多く出土しました。

- ①貝塚調査状況
- ②貝塚出土土器
- ③貝塚出土釣針
- ④貝塚の貝
- ⑤遺跡内出土土器



①



②



③



④



⑤

屋形遺跡の調査経過について

※屋形遺跡は1968年には公式に報告されている重要遺跡である。

※保存部以外の調査済み地点は工事着工可の状況である。

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
復興本部			設計・計画中				計画変更					
調査		確認調査					開始	終了				
		10月～12月					5月	1月末日				
		【岩手県】										
保存に向けた協議									有識者委員会	文化庁視察	確認調査	有識者委員会
									8月大石で貝塚の説明			

屋形遺跡の保存について

①有識者による会議（H28/07/11）

※出席者 盛岡大学文学部教授、元仙台市地底の森ミュージアム館長、名古屋大学博物館准教授 他

- ・貴重な貝塚であり、残したことは大いに評価される。
- ・すぐに文化庁に指導を仰ぐべきである。

大石の貝塚



②文化庁専門調査官による視察（H29/02/10）

※文化庁記念物課 文化財調査官、文部科学技官 他、
岩手県教育委員会 2名

- ・これまでの周知の遺跡とは異なる立地環境の遺跡が発見された貴重な事例である。
- ・貝塚だけでなく遺跡の全体の性質も重要な遺跡といえる。また、保存経緯の点でも評価される遺跡である。

※予想以上の高評価頂き、具体的な調査方法の指示を得ることができた。

文化庁の視察



6. 大石地域交流センターの増築について

➤ 工事概要

①多目的ホールの増築

面積約40m²→80m²

②多目的ホールへエアコンの設置

③スロープの設置 等

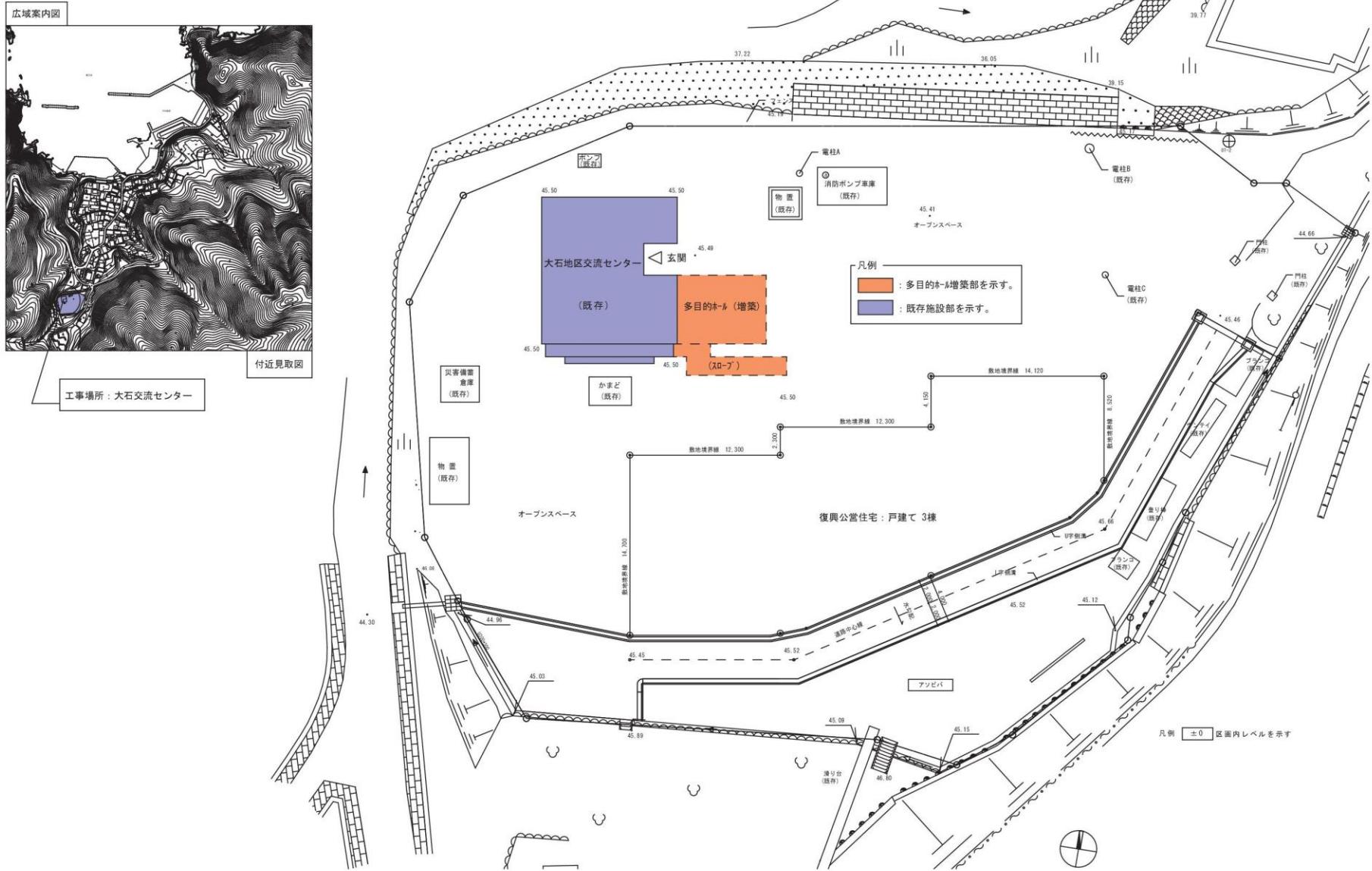
➤ 今後のスケジュール（予定）

①設計完了 平成29年3月31日

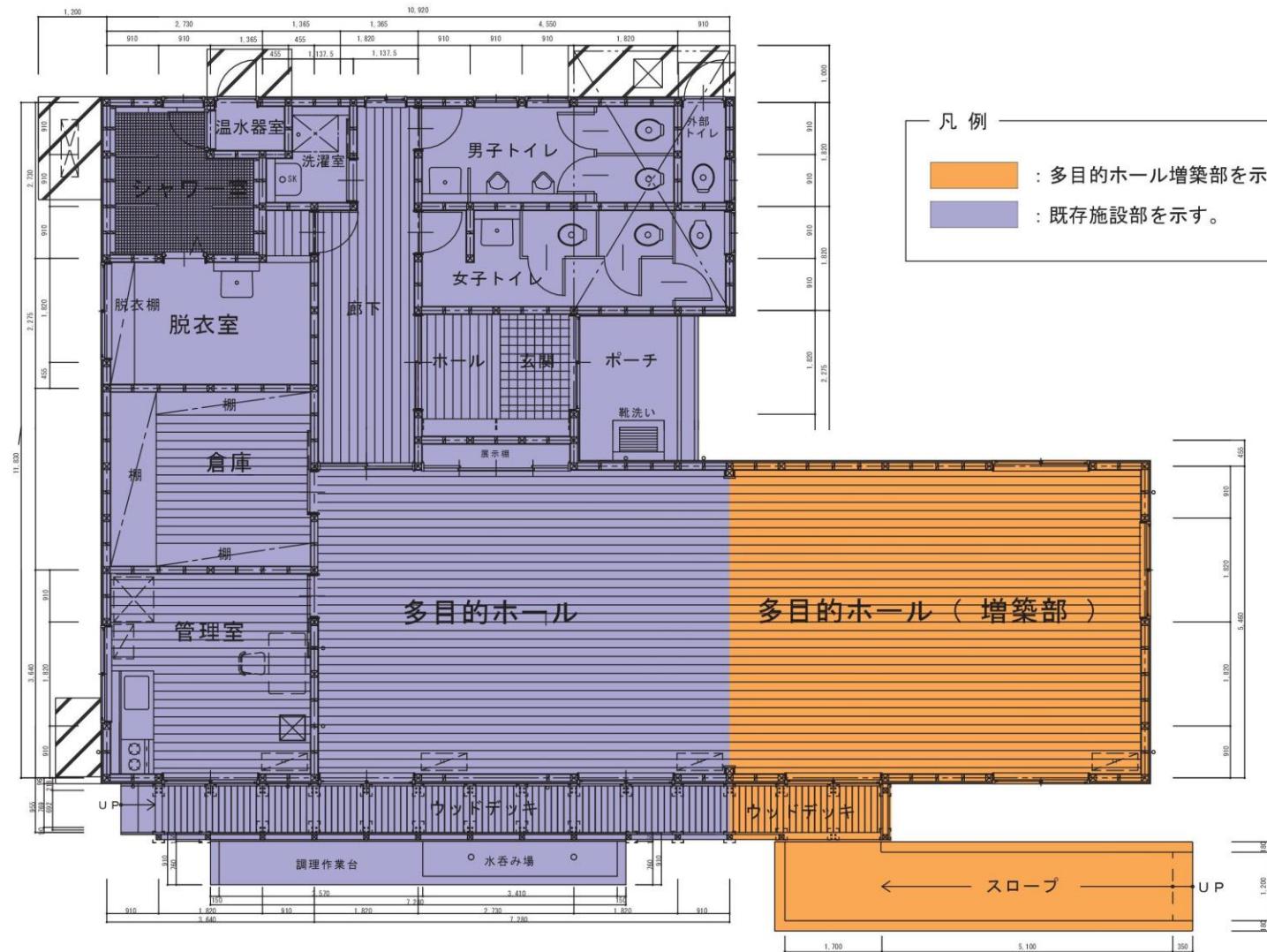
②工事発注 平成29年6月

③工期 約3カ月

付近見取図・配置図



平面図



7. 意見交換
